

## 令和4年度 中城御殿跡地整備検討委員会（第1回） 議事要旨

日時：2022年9月14日（水）14:00～16:00

場所：首里公民館 大ホール

### 1. 上之御殿・脇門石牆設計に係る前提条件について

#### ■名勝指定を目指すことについて

- 名勝指定に関しては、上之御殿のみではなく、中城御殿（建物エリア）や龍潭周辺もセットで考える必要がある。
- 平場中央の石積遺構のあり方やパーゴラの整備については、名勝指定や史跡指定の妨げにならないものとして考える必要がある。
- 名勝指定を目指して整備を進めることと、文化財の活用の両立は難しいことがある。名勝指定に向けて譲れない方針を決めていき、活用とのすり合わせをしていくことが重要ではないか。
- 名勝指定にあたっての上之御殿の価値について、南北の眺望が挙げられているが、北側の海への眺望を確保するためには背後地の都市計画を検討する必要があり、南側も同様に検討が必要である。将来にわたって景観を確保するためには、敷地周辺への配慮も明記すべきではないか。

#### ■上之御殿エリアの整備について

- 平場中央の石積み遺構に関して、遺構そのものを埋めて、その手前に擁壁を整備するという方針は文化財整備としていかなるものか。修復して活用すべきではないか。
- 平場中央の石積み遺構は、擁壁としての機能を果たしつつ文化財的な整備が可能なのか。
  - 平場中央の石積み遺構は使用されている石が小さく安定しない。また高さが3m近くあるため、安全性が担保できない。この遺構を文化財的な整備とするのは技術的に厳しいと考えている。
- 庭園を眺める視点場は必要で、休憩施設はあったほうがよいが名勝指定との兼ね合いが問題である。
- 植栽計画にあるように「木陰の豊かな空間づくりを図る」のであれば、パーゴラを整備する必要はないのでは。かつてあった上之御殿の建物は平面表示で示すという方法もある。新たな構造物があると上之御殿の景観が阻害されないか懸念する。

### 2. 松崎馬場園路設計に係る前提条件について

#### ■名勝指定を目指すことについて

- 龍潭周辺の名勝指定を目指す場合、どのような観点で指定を目指すのかを整理し、指定に支障のない整備を検討する必要がある。松崎馬場ルートと干渉するおそれのある師範学校時代の石垣（現在の県立芸大の石垣）を残す方向性であれば、その撤去は難しくなるし、松崎馬場を保存するとなれば県立芸大の石垣は撤去することになる。
  - 個別の文化財としての価値は発掘調査で検出・分析されたとおりであるが、どこまで文化財としての価値を守りながら、どう活用するか、文化財指定に向けて調整していきたい。

- 何のために松崎馬場を整備するのか、目的を明確にすべきである。時代設定の考え方も整理する必要がある。

### ■松崎馬場の整備について

- 宿道という重要な歴史の道があり、馬場では様々なまつりごとがある。それが松崎馬場という名前にこめられたのだが、その面影を少しでも再現しないと、龍潭の側にただ園路があるという状況になりかねない。松崎馬場という名称も含め、その価値を整理する必要がある。
- 宿道が先に存在し、松崎馬場はのちに整備されたものと考えられる。そのような歴史を踏まえると、宿道を整備するのか馬場を整理するのか、しっかり議論・検討しなければならない。
- 宿道や馬場であったという歴史的背景は踏まえつつ、松崎馬場に求められるのは、首里城と中城御殿をつなぐ園路としての役割で、そのための安全対策、遺構保護を検討すべきではないか。松崎馬場は龍潭と一体的な松並木の風致形成が重要であり、中城御殿の整備と関連して松崎馬場という園路を整備するという考え方で議論が必要である。
- 龍潭周りの園路は近代以降に周遊の必要から作られたものであり、往時の姿を復元するなら無くすことになるが、利用とのバランスを考えつつ議論が必要である。
- 松崎馬場の整備にあたっては、師範学校時代に整備されたと考えられる芸大石垣の取り扱いが課題となるだろう。平成の整備検討委員会では、師範学校時代の遺構も含めて戦前の遺構を残す方向性であった。
- 芸大石垣は石積が緩んでおり、危ないと苦情の声がある。崩落防止ネットによる応急的な対応ではなく、しっかりした対応がいずれ必要である。個人的な考えとしては、王国時代の松崎馬場を再現するという方向性になるならば、芸大石垣は撤去したほうがよいのではないかと思う。
- 松崎馬場跡の宿道は発掘調査で幅が4 m以上あったことが判明している。文化財への配慮と、園路としての機能をどう整備していくか引き続き検討していく。
- 松崎馬場の整備において樹木の整備は必須事項である。支障となる雑木は撤去し松を中心とした植栽に切り替えていく必要がある。
- 松崎馬場のみではなく、龍潭一帯は樹林を適切に整備・管理し、安全に周遊できる環境づくりの検討を合わせてお願いしたい。

## 3. 関連事業の報告

### ■龍潭転落防止柵の更新について

- 県道沿いで整備済みの柵は横柵であるが、安全面を考えると子どもが登ってしまう危険性が懸念される。安全対策についてどう考えているか。
  - 平成23～26年度の検討でも縦柵か横柵かは議論となり、周辺地域で意見交換会も実施して現状の横柵を設置した経緯がある。構造的に子どもは登れるが、越えにくいような形状となっている。柵の連続性を考えて、今回も横柵にしたいと考えているが、もちろん安全面も考慮する。
- 連続した景観を確保する意味で、既存の柵と合わせる提案に賛成である。より連続性を確保するために、下部の石の土台も検討してほしい。トイレ周辺の転落防止柵も提案のタイプに賛成

であり、周りに樹木が多いので濃いブラウンの色とすることで、景観に配慮したものになると考える。

#### ■城郭等屋外照明設置について

- 城郭等ライトアップの時間帯や光の雰囲気については、再度地域住民へのヒアリングを実施してほしい。

以上